



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1998～99年度 会長賞



国際ロータリークラブ会長 ジェームスL.レイシー

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリー財団月間

第532回 平成10年11月27日(金)

〔本日のプログラム〕

1. 点	鐘	次回予告
2. ロータリーソング		★12月4日(金)
「手に手つないで」		会員卓話
3. 食	事	垂水 敏雄君
4. 会長の時間		12月セレモニー
5. 幹事報告		★12月11日(金)
6. 委員会報告		夜間例会
7. 会員卓話		年次総会
富高 秀典君		
8. 点	鐘	

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	加藤 仙之
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	福井 輝文
事務局	宮崎縣佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	吉田康一郎
	☎880-0212	会計	恒吉 正志
	☎&FAX0985-73-7170	幹事委員	垂水 敏雄

第531回例会記録 (1998. 11. 20)

☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

第531回例会です。今日は社会奉仕賞の贈呈になっております。先週の例会でお願いをいたしました、贈呈式は来春に延期して戴き、今日は、理事、役員会の開催を致します。理事、役員の方は終了後お残り戴きようお願い致します。議題は、社会奉仕賞についてであります。社会奉仕賞とは、改めて考えてみますと、解らなくなつてまいりましたが、そこで、My Friendの社会奉仕を検索してみました。

ロータリーアンが個人として、あるいは他の人と協力して、地元地域社会の人々に対する思いやりや援助の気持ちを形に表すような行為をいいますとあり。例えば、地元地域社会の住民のニーズや問題並びにその解決策を研究するといった積極的な関心を示すこと、青少年に積極的な関心を持つことなどとありました、たとえば。

①援助を必要とする人々に力を貸し、支援することによって、すべての人々が生涯にわたり幸福に暮らせるように、地域内のことに心を配る、高齢者への思いやり、献血、青少年、心身障害者など、人間尊重。

②地域とその諸施設の改善すること

によって住み易い場所を築くように心を配る、交通安全、文化事業、施設改善など、地域発展。

③地域の環境の質を調査、改善するように心を配る、環境保全。

などがあげられています。このような思想を持ち、関心を示し、実践をしている方々、団体に送る賞であると思います。

昨年度の10周年記念事業の中の顕彰事業として始まりましたが、今後、これを定着させるには、選考基準、年間の表彰者数、団体の数、報奨金額等についての取り決めが必要ではなかろうかと思ひまして、理事、役員会をお願いした所であります。

ケナフの話題が昨日の宮日新聞に掲載されていましたが、宮大付属小学校で、ケナフを使った紙を作ったり、箸やいろんな木工細工に挑戦している姿の写真がありました、これは地球環境問題を学習する教材としてケナフを扱った記事でした。

第513回例会の会長の時間で、ケナフの事を話しをいたしました。我が家のケナフも花も散り種子が出来ています、先週の日曜日から収穫をいたしておりますが、ケナフの種子には棘があり採取に手こずっていません、来年の播種時期(7月)には、皆さんにお渡し出来るよう頑張っています。

ロータリー関係用語

薬物濫用及びアルコール過飲防止

米国の第7770地区内のクラブはRIDDE (Rotary in Drug Deterrent Education) を提唱しています。これは、薬物濫用の危険性について、地元の学生と討論できるようロータリアンの研修をするプログラムです。

ペルーでは、ティンゴ・マリア・ロータリークラブがナランジロ農協を援助しました。これはコカイン製造に使われるコカを植える代わりに、ココアやコーヒーを生産するよう農民を援助するプロジェクトです。

相談相手プロジェクトを通じて子供を指導

カリオング/ソマーズバイ・ロータリークラブはオーストラリアの「叔父、叔母」プログラムを通じて、恵まれない2人の子供を援助しました。

ロータリアンは、子供達をクラブ例会に招待し、一緒に週末を過ごしました。

米国では、カリフォルニアの3クラブが「子供のことを気かけよう」というプログラムに参加しました。これは、危機にさらされている青少年と、心配している大人を組み合わせるものです。

米国の「創意あふれる祖父母プロジェクト」はデラウェアのブランデイワイン・ハンドレッド・ロータリークラブによって提唱されたもので、世話好きな年長者と、個人的な支えを必要とする学生と組み合わせるものです。

虐待されている児童を援助

第5020地区(米国、ワシントン州)は、地元の小児病院で、性的暴力の調停プログラムを支援しています。毎年800人の若い人が性的暴力の被害をうけていますが、このプログラムは、身体検査、精神面のカウンセリング、その他の援助をするものです。

貧しい家族の支援と教育

ブラジルのブラジリア西ロータリー・クラブは、障害者のシングル・マザーのためのプログラムを支援しています。基礎的保育教室を開き、健康管理問題や基礎的衛生に関する情報を提供しています。さらに、コンピューター使用、裁縫、工芸などの市場性のある技術の研修を実施しています。オーストラリアの第9750地区は、『児童の希望財団』プログラムに参加しています。この財団は、貧しい家族に協力し、問題を乗り越え、その暮らしを豊かにするよう援助しています。

児童の労働問題に取り組む

インドのインターアクトは、児童労働の問題への理解を深めるキャンペーンを開始しました。親には自分の子供を労働力としないように説得し、経営者には15歳未満の児童の雇用について警告しています。